



## Q 岡義博法律事務所報 第15号

高松市丸の内10番1号大和生命ビル4階  
TEL (087) 821-1300  
FAX (087) 821-1833

### 愉快犯

愉快犯という言葉がある。他人が迷惑と感じたり、恐怖を覚えたりするような事柄（犯罪）を行い、それを密かに楽しんでいる犯罪のことである。この夏、和歌山で起こったカレー毒物事件は世の中に衝撃を与えたが、その後に類似の事件が次々と起きたことにも我々は驚かされた。

社会を騒がせる事件が起きると、必ずといっていいほどこれを真似る輩が出てくる。こういう輩は他人が怖がったり、大騒ぎになったりすることに喜びを感じ、愉快と感じるようである。しかし、我々にとっては愉快どころではない。不愉快なことである。このような輩を愉快犯と呼ぶべきではなく、卑劣犯と呼ぶべきである。卑劣犯は無防備な一般市民を無差別に犯罪に巻き込み、被害者にしてしまうもので、しかもそれを楽しんでいることが、まさに卑劣である。

このような卑劣犯を防ぐには、犯人を確実につかまえ、厳罰に処すべしという声がある。このような犯罪者が確実に処罰されるようになれば、確かに真似をする者は減るに違いない。しかし、この手の犯罪は動機が特になく、楽しむことが動機であること、対象が誰でもよく無差別であることから、犯人をつかまえることが困難である。

また、毒物の管理を徹底すべきだとする声もある。確かに、その徹底ができれば犯罪は減るであろう。しかし、青酸ソーダなどはメッキ工場で毎日のように使われており、使う都度使用量を記録したり、鍵のかかる場所に保管したりすることは現実問題としては実行がかなり困難である。結局、末端で毒物を使用

所長弁護士 岡 義博

している業者が注意を払って、使用量を記録したり、保管したりしない限り、管理の徹底ということは難しいと思われる。

しかし、事の本質は、これらの対処療法的な所にあるとは思えない。飲食した不特定人が死亡するかもしないことを認識しながら、それでも毒物を混入するという、その精神状態が問題である。どうして、平然と毒物を入れる人間ができるてしまったのか、その点の究明こそが大事なのではなかろうか。

1つには、社会の閉塞感があげられるかもしれない。物心ついた頃から幼稚園に入り、小学校、中学校、高校と進み、近時は多くの人が大学にも行く。その進む学校は、成績によってふるい分けられていく。就職にしても同じで、学校の成績で決められる部分が多い。また、成績以外に家柄、地位、肩書など世の中をしばっている鎖は様々ある。生まれた時から自分の一生は決まっていると感じている人はたくさんいるのであろう。そこで、うさ晴らしに無差別犯罪を犯すというのである。

しかし、時代の閉塞感を感じていても、このような犯罪に出る者はほんの少数である。閉塞感だけでは説明しきれない、何かがあると思われる。結局、その人間の成長する過程、人間形成の過程での欠陥の問題と思われる。してはいけないこと、許されないことを幼い頃から、家庭や学校でしつけられていないため、行動を抑制することができないのではなかろうか。これは、経済成長ばかりを追い求めて心の問題を置きざりにしてきた、戦後日本の生き方の総決算を求められている問題の1つであろう。

### 法の女神・テミス



この像は、ギリシャ神話の「法の女神」テミス (Themis …ギリシャ語で、「掟」「習慣」「法」「正義」を意味します) を形どったものです。

右手に掲げるはかりは、公平を象徴するとともに、悪の重さをはかり、剣は力による貫徹を象徴し、目隠しは無私をあらわすものといわれています。

刑法は、犯罪とその処罰について定める基本的な法律である。犯罪と処罰について定める法律は刑法以外に数えきれないほどあるが、刑法は、処罰に関する基本的事柄や古くから認められている犯罪を定めている点で刑事法の基本法といわれている。

日本の刑法は明治40年にできた法律で相当古いものである。そこで、改正をしようという声が20数年前からあがっていたが、新しい刑法の草案は人権保障の上で問題点があるとして日弁連などが反対し、棚上げとなってしまった。結局、平成7年に古い刑法を口語訳することで一応の落着をみた。

古い刑法の文語体の例を1つ。「罪本重ル可クシテ犯ストキ知ラサル者ハ其重キニ従テ処断スルコトヲ得ス」(38条2項)。これは一体何と読むのか。古い法律は句読点がなく、濁点も打たないこともあって読み方が難しい。これは「罪もと重かるべくして犯すとき知らざる者は其の重きに従って処断することを得ず」と読む。これが口語訳になると「重い罪に当たるべき行為をしたのに、行為の時にその重い罪に当たることとなる事実を知らなかっ

## 身近な法律シリーズ(15) 刑法

①

た者は、その重い罪によって処断することはできない。」となる。これを読むと何も知らないで悪いことをした人間は処罰できないようと思えるが、そうではない。

「法律ヲ知ラサルヲ以テ罪ヲ犯ス意ナシト為スコトヲ得ス但情状ニ因リ其刑ヲ輕減スルコトヲ得」(38条3項)。即ち「法律を知らなかったとしても、そのことによって、罪を犯す意思がなかったとすることはできない。ただし、情状により、その刑を減軽することができる。」つまり、法律を知らなかったといって許されることはないのである。

38条2項は、法律を知らないのではなく、事実を知らなかった時には処罰はできないということである。例をあげると、ある人から冗談で殺してくれと言われたのを間にうけて、本気で言っているのだと思って、その人を殺してしまった場合、重い殺人罪に問われることはない。刑の軽い囁託殺人罪となる。もちろん、これは、本気で誤解している場合のことであり、冗談で言っているのがわかっているのに殺したら、当然殺人罪となる。

## 高松ウォッチング

事務局 E・O

最近、高松ではウォーキングがひそかなブームです（但し、若い人以外）。夜になると、あちこちで歩いている人をみかけます。

私もやってみたいのですが、冬は寒いし、梅雨時は雨が降るし、夏は暑いし、丁度いい時は、ほんの少々。今がその季節でしょうか。

ちょっと太ってきたのが気になりだした主人をお供に、コースを少しづつ変え、知らない路地へ入って……行き止まり。

これが結構楽しいのです。この土地で生まれ育った主人にとってはなおのこと。昔は、畑と田んぼばかりだった所が、今では全くの様変わり。新しい発見があります。

つい先日、主人の帰宅が遅いし、子供たちは、「あほらしい」と付き合ってくれないので、一人さみしく出かけました。

一人の時は「ウォーキング」をしていると

知られると恥ずかしいので、用事があって歩いているふうを装い小さいバックを手に持ち、スタート。15分近く歩いた頃でしょうか、ふと気がつくと周りは真っ暗。そして人通りもない。ところが、後ろから男の足音。ザッザッザッ、私に合わせて同じ歩調。

「どうしよう！」後ろを振り返るのもこわい止まるのもこわい。足は惰性で歩いているが、耳は後ろ向き状態。アーッ、近づいてきた……。

と思ったら、知らないおばさんが、両手に小さなダンベルを持ち、通り過ぎていった。おまけに私のことを同志と思ってか、「こんばんはー」と言いながら、早足で遠ざかっていくのでした。



外部の方からの投稿です

## エトセトラ

事務局 T・I

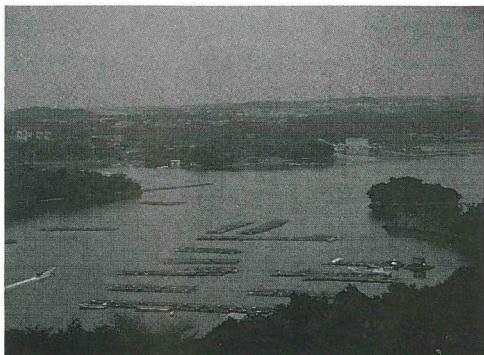
今年の7月にイタリアへ行ってきました。ミラノ～ベニス～フィレンツェ～ローマと回ってきたのですが、私が今回一番楽しみにしていたのがベニスでした。そこで、ヴェネチアングラスを買いたいと思っていたのです。ベニスに着き硝子工房を訪ねると、たくさんの日本人が来るため、流暢な日本語を話すイタリア人の店員さん（男性）がいて、色々なことを細かく説明してくれました。私はたくさんの種類の中からやっとの思いで選んだ、赤のワイングラスをペアで買うことにしました。支払いを済ませ、商品を受け取るとき、彼はおもむろに私に年を尋ねてくるのです。「イ

タリア人は年を気にしないって聞いたのに、若い人にしか売れんいうんか。」と1人被害妄想に陥っていると、「赤いグラスをペアで買うと来年はペアでベニスに来れるっていう言い伝えがあるのを知っていますか。」なるほど、そういうことか。すごくいいことを聞いたと喜んでいる私の横で、黄色と赤のグラスを買った友人は、「なんで、もっと早く言ってくれんの」と店員さんに詰め寄っていました（それも讃岐弁で）。この光景を見て、笑っていた日本人の新婚さんは、去年ここでペアのグラス買ったのかな～。聞けば良かった…。

## 伊勢・志摩の旅

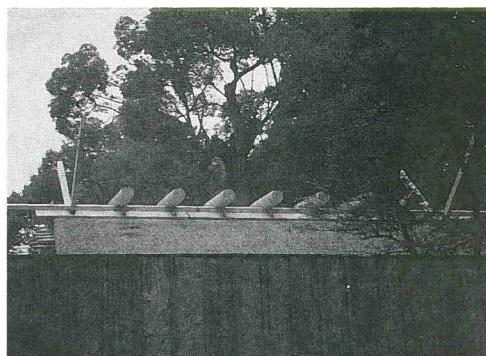
伊勢・志摩といっても、伊勢と志摩ではかなり離れている。特に志摩は遠い。大阪から特急に乗っても2時間半はかかる。そんな伊勢・志摩へ行ったのは6年前のこと。

志摩といえば有名なのは英虞湾での真珠の養殖。リアス式海岸の湾の中に筏を浮かべて養殖をしている。英虞湾に浮かぶ筏の様子は絶景であり、写真やテレビで数多く紹介されている。特に登茂山展望台からの眺めが美しい。そこで、早速行ってみました。登茂山へ。しかし、当日はあいにくの曇り。高いタクシー代を払って写真を撮ったが、出来映えは今一つでした。



志摩で有名なのは、もう1つ。志摩観光ホテルのフランス料理。バブル華やかなりし頃、テレビのグルメ番組には必ずといっていいほど登場したホテルである。値段もいいが、これはさすがに旨かった。食いしん坊の方には是非おすすめです。

次いで、伊勢。伊勢といえば伊勢神宮。これも、さすがと感じさせるもので神域内は荘厳で、静寂に満ちている。内宮と外宮があり、両者は5kmほど離れている。もちろん、両方お詣りしました。お詣りしたのが「式年遷宮」(平成5年)の前年の年。式年遷宮とは、20年に一度、正宮別宮の建物を造りかえる伝統の行事である。この時すでに新しい建物が造られており、準備が進んでいるという感じでした。



伊勢・志摩といえば近くに松阪もあります。松阪といえば松阪牛。有名な和田金という店がある。是非とも和田金のスキ焼きを食べなければと思い、行ってみたが、予約なしだったので、あっさり断られました。仕方なく持ち帰りの肉を買って家で食べましたが、これもさすがに旨かった。値段だけのことはありました。

(Y.O)

## Young-Man!

最近、「ビジュアル系」の人気が人気です。今年の流行語の候補にもなっている「ビジュアル系」の人とは、お化粧をした、とにかく綺麗な男の人のことをいいます（注：あくまでもルックスだけで、オカマではないのです）。

芸能界でも「ビジュアル系」がどんどん出て来る中、男性化粧品が売れるようになり、街でも軽い「ビジュアル系」の男の子を見か

事務局 H・S

けるようになりました。眉毛を綺麗に描いたり、スカートをはいているのは当然。中には美容整形までしてしまう高校生もいるそうです。とうとう、車の中で化粧直しまでしている男の人を見てしまいました。いくら流行といえども、男は男らしくがいいと思いませんか？